

常任委員・監事合同会議



第64号

平成10年6月15日
発行所 茨城県茨城郡
内原町鯉淵5965
鯉淵学園同窓会
☎319-0323 TEL.029-259-2811
振替口座 宇都宮 3-1632 番
印刷所 印刷所
（有）双葉印刷

四年制「鯉淵学園」全学年学生勢揃い

後輩進路激化・地域情報収集活動取り組みへ

分収林育成調査（第二回）実施

平成十年四月二十五日（土）同窓会館において別記委員出席の下に開かれた常任委員並びに監事合同会議は、四年制「鯉淵学園」の全面発進を契機とした新たな需要に応える必要を確認、その手始めに、都道府県地域情報を収集、学園に提供して卒業生の進路、就業に活用する仕組みを検討して学園と協議する方針を固めた。

母校「農業・生活専門学校【鯉淵学園】」は、平成七年四月から、四年制に発展再出発以来、本年四月新入生を迎えて初めて、四学年から一学年までの学生が勢揃いした名実相伴のキャンパスに成長、全国各地から寄り集まった後輩達によって、次世代の豊かな農業社会への前進を目指す人材育成の現場に相應しい若さと熱気溢れる活動が展開されている。

反面、現情勢下、学生募集広報、卒業生の進路就職指導等に困難性も激化、その解消一助対策として本会都道府県支部組織を活用する地域情報収集機能を工夫、開発する所以である。時局到来の認識で本支部一丸の支援体制確立が期待される。

従って、今後の同窓活動は、従来型の懇親交流に止まることなく、新しい情勢に対応した運動を振興して母校「鯉淵学園」との共存共栄体制を更に強化、持続前進する必要から引き続き都道府県支部の体制整備を強く要請、推進する方針である。

四月八日現在の「在校生学年別在籍状況」は、下表の通りである。

括弧は、女子学生再掲。

学年	学科	
	農業経営科	生活栄養科
一学年	七八（一二）	二九（二五）
二学年	八一（一六）	三二（二五）
三学年	九一（一六）	三四（三三）
四学年	七三（八）	二〇（一八）
計	三三三（五）	一一四（二〇）
計	一一〇（三七）	三
計	一二二（四一）	三
計	一二五（四八）	三
計	九三（二二）	三
計	四四〇（一五）	三

分収林造林対策 第二回実地（成育）調査員選任

平成八年五月十六日実施した第一回実地調査に引き続き、その後の成育状況観察を目的とした第二回調査を五月十一日（月）実施で合意、別記「名簿」の通り調査員を選任した。

調査結果は、前回の調査で観察、予想通りに順調な成育振りで、隣接分収林との比較でも、樹勢、山林環境ともに歴然として自慢できる状態であり、詳しくは、調査員代表・関口義明樹木医が総括した「報告書」によるものとする。

第二回分収林実地（成育）調査員名簿

副会長	高橋隆三 茨城⑨
副会長兼 常任委員長	吉川昭雄 茨城⑪
常任委員	関口義明 群馬⑦ 樹木医・調査結果総括
常任委員	稲川正夫 茨城⑬
監事	本宮好美 茨城⑫
林業専門員	益子騏一 茨城⑭ 分収林管理協力者
事務局長	岩持文彦 茨城⑦ 常任委員・茨城県支部長

分収林育成調査報告書

群馬⑦ 関口 義明 (樹木医)

平成八年四月二十日開催の常任委員会において分収林造林事業存続問題が議論され、常任委員等七人と分収林管理協力者である茨城⑧益子 眞・夫妻とで実施した同年五月十六日の第一回調査の結果、「樹勢は旺盛で、順調に生育していることから、将来有望な人工林に育つであろう」という全員一致した意見で継続が決まり、二年が経過した。

今回の調査は、継続結定を下した第一回目次に第二回目となる。

五月十一日(月) 曇天・時々薄日

谷川を渡り、先ず日についたのは山麓のスギで、幹折れと根返り(根から倒伏)、半倒伏の被害である。

これは明らかに被害である。被害数は凡そ三十本、全体の約10%位で、主に、平成三年の雪害後補植した細いスギが被害を受けたのである。この場所は、山麓で腐植が多く水分含量の多い以上なので生育良好、しかも密植地帯であることから軟弱徒長気味であった。

被害樹は比較的少なく、目通り(根本から1.2m高さの幹周り)が2.5cm位の細目のスギが多かったため、間伐時に処分すればよいものと判断された。

スギの生育状況は、大きなもので目通り35cm位、細いもので26cm位で平均30cm位である。高さは8m位で枝張りが4m位、密植の箇所は枝枯れを起

こしていることから、この二、三年の間に間伐の必要があるものと判断された。樹勢は旺盛良好で葉色の緑は濃く、互いに競い合つて上部に伸長している。

山腹より尾根にかけて植栽したヒノキは、一本の被害も認められなかった。ヒノキは、スギより被害に強いのである。幹は堅くて丈夫、枝は細くて比較的短いが強健である。葉は滑らかで雪が落ち易いのである。そのうえ、植栽間隔が広くて丈夫に生育しているので、暖冬の水分含量が多い落下しにくい雪にもよく耐えることができるのである。また、中腹から尾根にかけて生育していることから、朝早くから夕方遅くまで日照を受けられるので、雪落ちが早いことも幸いしている。

ヒノキの目通りは、四十〜五十cm、途中補植したもので、十〜十五cmになっており平均四十cm位で、高さは八・五m位である。特に、北側の尾根のゴルフ場境界付近は平らで、土壌が良質であることから樹勢も一段と旺盛で、目通り五十cm高さ八・五m以上に生育していることが認められた。しかし、中腹では、少し葉色が薄く黄色味を帯びたヒノキも見受けられたので、森林肥料を施して樹勢を回復させる必要がある。

尾根から下る道の両側の分収林は、無管理の為に荒廃して雑木林と化した姿は痛ましく、改めて管理の重要性を実感した。長年論議の的になった分収林造林事業も、契約から十三年、漸く落ち着いて、

スギもヒノキも、青年期を迎える段階に至つたのである。

二十世紀の学園同窓諸兄は、二十世紀の後輩に美林を贈る努力を重ね、漸く明るい兆しが見え始めたことを確信して報告とする。

会員名簿販売代金 後払い措置決定

対象は購入予約申込み者 「三三〇名」に限定

昨年七月刊行した会員名簿【第12版】は、会員各位から寄せられた「名簿登録事項確認・変更報告書」の記述の中で、名簿購入申込みの有無を予約いただき、その有数を集計した限定販売方式を採用し、購入予約代金納入者には刊行と同時に発送して現在に至っております。

しかし、購入予約申込み者中三三〇名の方からは、再度にわたる代金払込取扱票の案内にも係わらず納入が遅れ、名簿が行き場を失つておりましたが、この方々に限って今度の代金後払い措置を適用することで名簿発送となりました。

この措置で、名簿を受け取った方は、忘れることなく同封の「払込取扱票」によって名簿代金をご送金くださるようお願い申し上げます。

平成十年四月二十日現在における会員名簿【第12版】の販売状況は、次の通りです。

名簿作成部数 二五〇冊
販売部数 一六九冊
在庫部数 八〇冊

※在庫の中、四六〇冊は平成十一年から十四年入学の学生用として備蓄しております。

【別記】

常任委員・監事合同会議 出席者名簿

(役職・氏名・所属・卒期の順)

会 長	福丸 博房 埼玉⑨
副 会 長	高橋 隆 茨城⑧
副会長兼 常任委員長	吉川 昭雄 茨城⑧
常任委員	岩持 文彦 茨城⑦
	(事務局長・茨城県支部長)
	稲川 正夫 茨城⑧
	根本 保夫 茨城⑧
	大竹 勝次 栃木④
	関口 義明 群馬⑦
	(住吉 達男 東京⑯)
	(東京都支部長)
	大原 俊雄 東京⑯
	北村 康祐 神奈川②
	(神奈川県支部長)
	山本 英治 学園⑩
	工藤 徹郎 学園⑩
	秋葉 勝久 学園⑩
	砂田 義雄 学園⑤
	本宮 好美 茨城⑧
	(以上 十八名)

平成十年・十一年度会費納入通知・お願い

健全財政確立を目指して三度目の挑戦

会員各位のご理解とご支援に期待

本会創設以来の願望と言っても過言でない健全財政の確立は、活動の基盤である会費収入の増伸に全面的信頼を託した目標である。

平成十年・十一年度予算に計上した会費収入額は、六百万円。この額は、所在判明会員の四〇％である二千八人の会費に相当する。本会では、平成六・七年度以来、この額を当面の目標として予算に計上し、その達成を日処に健全財政確立運動を展開してきたが、残念にも二度挫折し今回が三度目の挑戦となる。

平成六・七年度の収入実績は、会員比三〇・八％、予算対比八〇・〇％の納入率で四八〇万円である。平成八・九年度は、会員比三四・一％、予算対比九二・一％の五五二万円と伸長して平成十・十一年度に期待するところである。

本会の正常な発展を目指して、何方も、忘れることなく、同封の「払込取扱票」によって、八月三十一日までに最寄りの郵便局に納入し、宿願達成にご協力くださるようお願い申し上げます。

納入不要 表示にご注意

送付した「払込取扱票」に「納入不要」と表示されている場合は、終身会費納入者又は平成十・十一年度会費納入済者であって、この払込取扱票による納入は必要ありませんのでご注意ください。重複納入の場合は、会費寄付として申し受けますのでご了承ください。

終身会費

終身会費で納入される方は、「払込取扱票」の年度会費金額「三〇〇〇円」を二線で消し、下表の「終身会費納入区分表」によって該当する期別金額を記入して払い込んでください。

会費納入期日

平成十年八月三十一日

終身会費納入区分表 (平成10年4月から適用)

卒業期別	卒業年月別	金額(円)
1期～17期	昭和21・3～37・3	22,500
18期～22期・通1～通2	昭和38・3～42・3	25,000
23期～27期・通3～通5	昭和43・3～47・3	27,500
28期～32期	昭和48・3～53・3	30,000
33期～37期	昭和54・3～58・3	32,500
38期～42期	昭和59・3～63・3	35,000
43期～47期	平成元・3～5・3	37,500
48期～51期	平成6・3～10・3	40,000

支部・同期の動向

上沢義主氏 (19期) 岩手県議会に進出

平成九年十一月三十日行われた岩手県議選遠野選挙区の補欠選挙に立候補した上沢義主氏(66歳)が、対立候補を一千二十七票差で破り初当選を果たした。

同氏は、学園農学科十九期生。昭和三十九年三月卒業以来郷里で農業を實踐、市農協青年部長などとして活躍、昭和五十年から遠野市議連統五期、平成三年から六年まで議長として市政に関与、「宝物である農地を価値ある財産として残すため農業を再生しなければならぬ」と本来の地方自治の在り方を求めながら、遠野郷の発展に尽くすひたむきな努力が実を結び、見事激戦を制した。今後の活躍が期待される。

岩手県支部総会は、前号掲載の日程で開催されたが、前記「県議選遠野補選」が急遽実施されたことから参加者は二十三名止りとなった。その中で、五十期の内記淳、小滝さつきと五十一期細川雅徳の三新人及び、長野県から転入した箱石正④和子⑨夫妻の参加が起爆剤となり、例年以上の盛り上がりとなった。

その他の支部又は同期会の開催等次の通りで、◆開催年月日、◆会場又は開催地、◆代表者、◆出席者又は人数、◆主たる会議内容の順に掲載する。○数字は卒期、括弧は通信課程卒期

岩手県支部総会

◆平成九年十一月二十九日(土)

三十日

◆岩手県雫石町鷺宿六一九五―三

ホテル「鷺庄館」

☎〇一九一六九五―二三三六

◆支部長 高橋利清⑨

◆出席者 二十三名(記念写真紹介)

齋藤裕夫⑪ 撮影欠席

◆内記 淳⑥

◆会議内容 支部運営協議、役員選任及び懇親会

◆新役員紹介

支部長 芳賀正美⑭

副支部長 三浦邦雄⑮

事務局長 加藤勝信⑫

細川隆造⑬

◆派遣員 岩持文彦⑦(事務局長)

◆懇親会場にバックメロディー

カセットテープ「寮歌」登場

岩手県支部総会初参加の箱石和子さんから提供されたテープによって、会場内に流れる寮歌の誘いで、雫石「鷺宿」の



【写真説明】

前列左から 久保良雄②、芳賀正美⑭、細川雅徳①、小滝さつき⑩、岩持文彦⑦、
高橋利清⑨、箱石和子⑨、箱石 正④
中列左から 藤沢勝章⑩、加藤謙次⑭、小川昭伍⑤、菊池博美⑯、鷹背 武④、
加藤勝信⑭
後列左から 菅原 彰⑤、細川隆造⑬、佐々木一夫⑰、上杉三郎⑮、阿部 豊⑨、
鈴木 寛⑦、久慈宗悦③
(撮影時不在 斎藤裕夫⑱、内記 淳⑩)

一夜を満喫、心の里「鯉淵」への思いが鮮明に蘇える。
総会盛り上がりの一因ともなった。
このテーマは、提供者の実弟・箱石啓人(ヒロト)氏によって演奏吹き込み作成されたもので、鯉淵学園同窓会内部使用に關しての、この作品の複製等ご承諾をいただきました。
複製販売について、正式には決定して

おりませんが、去る四月二十五日開催の役員会での話題で、希望する支部に対しては原価で頒布し、集会等での活用を推進する方針で合意が図られた。

製作者の住所

盛岡市長田町二一三三五

日AW(ホー)音楽工房 箱石 啓人

(電話〇一九一六五二一四五二八)

熊本県支部 不知火会総会

◆平成十年一月二十五日

(日) 十二時〜

◆熊本市上通り町一五

焼肉友宝

「なつのゆき」

◆支部長

森川 紀 一⑩

◆出席者 十九名

(記念写真紹介)

◆会議内容

平成九年度事業、会計報告及び十年度事業計画。なお、十一年度は不知火会創立五十周年記念総会開催決定。



【写真説明】

早前三男④、鹿江琢史③、坂田秀雄③、山本正人②
前列左から 吉田喜幸⑩、村田芳郎③、東 善明⑯、田上輝昭⑲、
吉丸民雄⑳
中列左から 田端義雄㉑、宮崎大平㉒、森川紀一⑩、馬原清隆㉓、
中村眞輔⑱、那須 良⑳、上島良一㉔、鳥居憲太郎㉕
後列左から 松本 功㉖、本田和稔㉗
(撮影時不在)

鹿児島県支部総会

◆平成十年三月十四日(土)

午前十一時三十分〜十五時

◆鹿児島市与次郎二丁目七十八

鹿児島ジャンゲルパーク

ベイスайдガーデン

☎〇九九一三五五一一四四一

◆支部長 外西 俊 行⑭

新潟県支部総会

◆平成十年六月六日(土) 十七時

〜十七日

◆新潟市紫竹山七丁目十五一十三

割烹の宿「湖畔」(鳥屋野潟湖畔)

☎〇二五一一二四七一一三三五一

◆支部長 黒石 勇 蔵⑤

◆派遣員 岩持文彦⑦(事務局長)

支務・同窓の趣向

群馬県支部総会

七期会(第七回)集会

- ◆平成十年七月二十五日(土) 十六時～
- ◆群馬県伊香保温泉「千明(仁泉亭)」
- ☎〇二七九一七二一三三五五
- ◆支部長 阿部 功④
- ☎〇二七一三五二一四六九一
- ◆連絡先 小林 弘⑦
- ☎〇二七九一三三二二八五五
- ◆平成十年九月二十五日(金) 十四時～
- ◆第一会場 鯉淵学園
- 第二会場 茨交大洗ホテル
- ☎〇二九一二六七一二二五
- 茨城県東茨城郡大洗町
- 磯浜町六八八一

北海道・道央十傑の集い

石狩・後志・日胆地区同窓雄姿見参

平成九年十月四日(金)～五日
洞爺湖畔「北海ホテル」

事務局で、この報告を受け取ったのは、正月松の内である。

一、三人面識のあるほか電話交流でお世話になった方も名を連ねて、雄大な背景に彷彿とする思いだ。

写真は挨拶代わりで元気の証拠、じっくりご覧ください。

次の集会は、北海道全域の仲間呼びかけると言う。乞ご期待。



【写真紹介】

左側より

石橋孝一⑨、升田文夫⑨、美馬信子④、伊東馨⑨、田中幸⑬、山根広海⑦、姉川武司⑬、大西繁松⑬、桑野茂④、佐藤一春⑪

◆連絡先

鯉淵学園第七回集会実行委員会

世話人代表 岩持 文彦

☎〇二八〇一三二一五九九

八期生集会

◆平成十年十月十七日(土)

十五時三十分～十八日

◆長野県松本市浅間温泉ホテル「井筒」

◆代表幹事 松村 義明

☎〇二六五八六一二八二三

平成十年度 鯉淵学園人事異動

依願退職	嘱託教授	西村典夫
嘱託教授	飯塚節夫	
助手	山川靖子	
定年退職	中野光志	
教授	土崎常男	
名譽教授称号授与	西村典夫	
採用	嘱託教授 畜産・加工コース科長	中野光志
嘱託教授	作物・園芸コース科長	土崎常男
技師補	松本光永	
技師補	石田友紀	

鯉淵学園同窓会茨城県支部総会告示

日時 平成十年八月七日(金) 受付・午後四時 開会・午後六時

会場 八郷町湯袋二二二一五〇 国民宿舎「つくばね」

☎〇二九九一四二一三二二

議題

①平成八・九年度事業・決算・監査報告

②平成十年・十一年事業計画・予算審議

③平成十年・十一年度役員選任

④その他

懇親会 総会に引き続き開会 参加者負担金・五千円

お願い 多数の出席をお待ちしております。

また、出席される方は、「はがき」又は電話にて住所、氏名、卒期をご連絡ください。

〒三一九一〇三三四 内原町鯉淵五九六五 鯉淵学園内

鯉淵学園同窓会茨城県支部事務局

☎〇二九一二五九一二八一

インターネットでの鯉淵学園へのアクセスご紹介

インターネットでお楽しみの方は、鯉淵学園の情報もご覧下さい。

<http://www.sphere.ad.jp/koiibuchi/>

常任委員・支部長異動

常任委員 西村典夫^④ 平成十年三月三十一日離任（鯉淵学園退職）
 " 山川靖子^{④⑧} " " "
 " 西本尚子^{⑤⑩} " " "
 " 川村哲広^{⑤⑩} " " "
 岩手県支部長 芳賀正美^⑭ 平成九年十一月二十九日岩手県支部総会選任
 岐阜県支部長 高津政巨^⑫ 平成九年十一月二十九日岐阜県支部総会選任

哀悼

岐阜県支部 ^⑦	齊藤茂作	平成九年十二月十六日逝去
大分県支部 ^③	橘功	平成九年十二月二十七日逝去
沖縄県支部 ^⑧	砂川昌公	平成十年二月六日逝去
熊本県支部 ^②	奥村心度	平成十年四月二十四日逝去
長野県支部 ^⑬	伊藤郁雄	平成九年（没日不明）五月十一日受理

三期生

村田 芳郎氏

勲四等・旭日小綬章受賞

同窓会員からも祝意がよせられたこと
 について同氏より感謝の寄稿がありました
 のでご紹介いたします。

謹啓 皆様には益々ご清祥の御事とお慶
 び申し上げます。
 さて私こと

平成十年の春の叙勲に際しまして

勲四等・旭日小綬章

拝受の栄に浴しましたところ

ご懇切なる祝意を頂戴いたしましたこと誠に
 ありがたく厚く御礼申し上げます。

去る五月十一日の伝達を受け引き続き皇

居に参内し 春秋の間で天皇陛下に拝謁
 の栄を賜り感激の極みでございました。
 これも偏に皆様のご指導とご支援の賜
 と深く感謝申し上げます。

今後はこの榮譽に恥じないよう一層精進
 いたし些かなりともご芳情に報いたいと
 存じますので何卒宜しくお願い申しあげ
 ます。

末筆ながら皆様様の益々のご健康とご多
 幸をお祈り申し上げます。 敬具

平成十年五月吉日

村田 芳郎

事記

第7回新潟潟県支部同窓会関連記事は今
 号印刷に間に合わなかったため次号掲載
 予定。

加藤成一 1998年2月22日

皆さんお元気ですか
 バラグアイでは、やっと暑い夏が終わりかけ、涼しい秋が来ました。3月からは夏時間も終わり、時計の針を1時間遅らせた普通の時間帯に戻ります。日本では長野オリンピックで沸き返っていることと思われませんが、こちらバラグアイではオリンピックに参加しない事もあって、テレビや新聞にはあまり取り上げられません。むしろ関心はフランスで行われるサッカーのワールドカップです。

バラグアイに来て1年2か月経ちました。仕事や生活にも慣れて毎日順調な日々を送っています。どんな暮らしをしているのかご紹介しましょう。（皆さんの税金で来ていますので、情報公開をする責任を感じています。）

1 仕事ぶり

仕事の基本は、バラグアイのカウンターパート農牧省農業普及局の職員＝職員数160名＝この内の農業専門技術員5名）の仕事への支援、技術指導です。よってカウンターパート抜きに、自分で仕事をしては意味がありませんし、国際協力になりません。何事も相手のレベルやベースに合わせつつ、より高度な技術レベルに誘導し、国をリードする指導者を育てる、人造りです。

ま、難しい話より具体的に毎日何をしているか、ご披露しましょう。

1) 勤務時間

毎日、朝6時半頃、雇用している運転手が来ます。7時前に自家用車で弁当を持って家を出ます。職場は農業普及局で、家から20分です。花の咲く街路樹に覆われた路を、郊外に向かいます。アスンシオン国立大学等が並ぶ緑の多いサンロレンソ市に有ります。職場に着くと、車は妻の用務のため帰宅させます。

勤務時間は、現在、原則として一般職員は朝7時から昼の1時までです。以前は昼からの勤務も有ったそうですが、政府に給料の財源が乏しく午後からの勤務はカットされました。但し、管理職の人は、午後も勤務します。また、私のカウンターパートは、国際協力に携わる関係で、1時半から4時半まで時間外手当を支給され、午後も勤務します。但し、金曜日は支給されません。私の勤務時間もこれに合わせるようになります。

次号に続く